

<資料>

産学連携新商品

New Products Developed by Academia-Industry Cooperation

頭師 暢秀*

Nobuhide Zushi

流通科学大学にデザイン工房が開設されることになった。学生による企画立案の基地として位置づけられている。これを記念し、これまでに筆者の研究演習で発案し販売してきた商品3点（頼っとして、夫婦三昧、トライスパーガー弁当）を紹介する。いずれも、産学連携企画として学生が発案し、企業と協働して開発を進め、実際に販売された新商品である。

キーワード：産学連携、ものづくり、頼っとして、夫婦三昧、トライスパーガー

I. はじめに

近年の大学では、座学を中心とした教育方法に加え、学生に行動させる教育方法が盛んとなっている。基礎学力教育や専門知識教育といった従来からの知識教育の必要性は認めつつ、キャリア教育といった実践教育の重要性が説かれ、大学で学んだ専門知識で企業等から与えられた課題を解決しようとする課題解決型学習（Project Based Learning）が実施される機会も増えているようである。流通科学大学においても、2010年4月から社会連携推進課が新設され、2011年4月からは、学生の企画立案の基地として『デザイン工房』が開設される等、ますます学生と社会との連携活動を推進できる条件が整ってきている。本稿では、開講以来、サービス・マーケティング/マーケティングをテーマに「ものづくり」を継続してきた頭師暢秀ゼミナールの学生が企画し、企業とともに開発から販売までを実現した3つの商品を紹介する。

II. 学生発案による産学連携新商品群

1. 頼っとして

2007年秋学期に開講した第1期生に対し、チーム対抗戦のコンテスト形式で新商品企画の課題を与えた。高齢社会に貢献することを目標に、実用化可能なレベルのバリアフリー新商品案を提案するよう要求した。メディアにも取り上げられた、株式会社田邊金属工業所と和合商事株式会

*流通科学大学サービス産業学部、〒651-2188 神戸市西区学園西町3-1

社の協賛を得て実行されたコンテストにおいて優勝したアイデアを、所属学生全員で販売可能な形に具体化したものが『頼っとして』である。「学生が、おじいちゃんやおばあちゃんに買ってあげたい福祉器具」という発想から生まれ、そのネーミングは、協賛企業の既存製品である『じゃませんとって』や『じゃませんでイースツ』にならった統一感を出している。

『頼っとして』は、階段の手すりにネジで取り付けるタイプの歩行補助具の一種である。その最大の特徴は、階段の昇降に支障を感じている人々が、既存の住宅に大きな改造工事することなく、足腰への負担を軽減するために、安価にて後付けで設置することができる点にある。想定された主な利用者は足腰に自信を失いかけた高齢者であり、アーチ型の『頼っとして』を手すりに複数設置することで効果が見込まれている。滑りやすい直線的な既存の手すりの両端ならびに中間にこぶ状の『頼っとして』があれば、階段の昇降時に、上体を引く、または支えながら移動することが可能となる。ただし、既存の手すりの直径は35φ、その両端はエンドブラケットで壁面に取り付けられたタイプでなければならず、その材質は、アッシュ・タモ・ゴム等の集成材でなければならない。アジャスターを使用することで、縦型のミニ手すりとしての利用も可能である。



写真1 『頼っとして』の商品とパンフレット（右）

コーナンプロショップ、東急ハンズ等の店頭のほか、楽天をはじめとするネット通販サイトに販売され、実売価格は、980円（税込）程度で流通している。株式会社田邊金属工業所の TANNER ブランドだけでなく、GUARD ブランドで株式会社ガードロックが相手先ブランドとして発売している個体も存在する。パッケージデザインも学生によるものであり、製作した学生の顔写真も掲載されている。

2. 夫婦三味

第2期生には、未曾有の不景気に苦しむ日本を元気づけようというテーマでチーム対抗戦の新型弁当開発企画の課題を与えた。福祉器具の開発と同様に、実販売可能なレベルの新商品案を提案するよう要求した。まねき食品株式会社の協賛を得て実行されたコンテストにおいて優勝したアイデアを、所属学生全員で販売可能な形に具体化したものが『夫婦三味』である。

『夫婦三味』は、カップルをターゲットに、2種類の弁当をセット販売することを前提とした斬新なコンセプトを持つ商品である。夫用・妻用と想定された弁当は、それぞれ異なった具材で構成されている。すなわち、地産池消の観点から、まねき食品の地元である姫路市のレンコンや、安富町のゆず味噌、兵庫県淡路島産のたまねぎなどを使用し、それぞれの弁当の内容は偶数個ずつ別内容を基本にレイアウトされている。これにより、男女のカップルがお互いの中身を交換しあって食べさせるよう誘導している。また、掛け紙の表面は、並べると赤い糸が結びあうデザインであり、「この世界 運命の糸たぐりよせ つかんだものは あなたとの幸せ」の短歌が浮かび上がる。裏面には、各地の観光地と本弁当の献立に関するクイズが印刷されている。正しい解答の頭文字をつなげることで、「いつかふたりででかけよう」と「いつもありがとう」の文言が浮かび上がる。これらの仕掛けに加え、同梱されたメッセージカードに示された好みのメッセージを選んでパートナーに渡すことができる。制作した学生の集合写真も掲載された。



写真2・3 『夫婦三味』のパッケージと内容(右)

JR 姫路駅構内やまねき食品株式会社の販売店舗である味三味の各店舗でも発売された。単品としての価格は、630円(税込)と設定され、開発コンセプトに準じた2つセットの場合は、1,260円で発売された。

11月22日のみ「いいふうふ」の日として、1,122円の価格キャンペーンを行った。阪神百貨店梅田本店地下1階の味三味ブースでは、制作した学生による販売実習が行われ、この様子は多くのメディアに取り上げられた。

3. トライスバーガー弁当

第3期生は、姫路城改修による影響で観光客の減少が見込まれる姫路市の観光を応援することを課題とした。新観光資源としてご当地グルメとされる姫路おでんに着目し、そのプロモーションも兼ねて、まねき食品株式会社とともに商品化を試みた。姫路おでんとは、生姜醤油で食べるおでんのことであり、姫路を中心とした播州地方で広く認知されている。

『姫路おでん トライスバーガー弁当』は、「阪神の全国有名駅弁とうまいもんまつり」における目玉企画に位置づけて開発された。このイベントは、阪神百貨店梅田本店の年始恒例行事であり、西日本一の弁当フェスティバルとの呼び声も高い。そのため、商品コンセプトの開発にあたっては、次の3点を重視した。すなわち、阪神百貨店の新春企画催事、2010年の干支である虎、姫路おでんの使用を意識した。新年にあたり「福をつかむ」との発想から、掴んで食べるライスバーガーの形態を採用し、ネーミングは、干支のトラ、新年にあたって挑戦しようという願いを込めたトライ、ライスバーガーのライスを織り交ぜてトライスバーガーと名づけられた。また、阪神タイガース球団創立75周年を記念して、価格は750円（税込）と設定された。

サフランによる黄色とイカ墨による黒色のバンズを用いることで、虎を想起させる色遣いと、衝撃的なデザインを実現した。おでんの具材には地産地消を意識して地元の食材を多く用い、生姜醤油はボトル型の容器で提供することにした。まねき食品の高度な調理技術が活用されたことで、おでんにつきものの煮汁が弁当全体にしみわたることは防止された。



写真4・5 『姫路おでん トライスバーガー弁当』のパッケージと内容（右）

本作品のパッケージとキャッチフレーズにも学生の意見が反映され、掛け紙側面には開発の経緯が、裏面には姫路市内おでんマップが掲載された。そして、新春の運だめし企画として、5円（ご縁）や駅そばの引換券がクジ引きとして同梱された。ただし、当選者に姫路を訪問していただくとの意図から、JR 姫路駅のまねき食品駅そばスタンドでのみ引き換えが可能とした。

本商品は、2010年1月18日にJR 姫路駅で販売が開始され、「阪神の全国有名駅弁とうまいも

んまつり」では、『姫路おでん』がトラになった」と各種ポスターの中心を飾り、メディアにも多数取り上げられる活躍をみせた。その後、阪神甲子園球場でも、一部仕様を変更した商品が継続販売されている。

Ⅲ. おわりに

本稿では、頭師暢秀ゼミナール第1期生から3期生までの活動から生まれた商品群を振り返った。サービス・マーケティング/マーケティングの学習を通して、多くの消費者に資することを一貫した目標に据えている。ここに挙げた『頼って』『夫婦三昧』『トライスバーガー弁当』は、そのネーミングもさることながら、内容もまた斬新で魅力あふれるものばかりである。これらの商品は、多くの消費者に好評をもって迎えられ、日本の若者は、まだまだ棄てたものではないと再認識させられる。

ここに紹介した事例に限らず、流通科学大学では多くの実学プログラムが実施されている。なかでも、商品開発を目的とした社会連携活動は、特に、流通・マーケティングを学ぶ学生に対して教育効果の高い手法だと考える。加えて、このような活動は、学生のみならず、理論と現実の狭間に立つ教員にとっても有意義な経験となるだろう。類似の取り組みが、社会全体の理解のもとに推進されていくことを期待しつつ、ここに、デザイン工房の成功を祈念したい。

謝辞

実際の企業活動においても、新商品の企画・開発は日々継続されていますが、その多くは日の目を見ることはありません。学生が発案したアイデアを、実際に商品化し、販売にいたるまでお世話いただいた各社の勇気とご協力に、言葉に尽くせぬ敬意と感謝の念を禁じ得ません。記してここに謝意を表します（順不同）。

- ★ 株式会社田邊金属工業所
- ★ 和合商事株式会社
- ★ まねき食品株式会社
- ★ 白鷺印刷株式会社
- ★ 株式会社阪急阪神百貨店